

資産運用レポート：3年後を見据えた投資

1 はじめに

今から5年あまり前の2011年4月。私は京都駅から「のぞみ」の自由席に乗り込みました。

9時過ぎに東京駅に着くこの列車は、週末の土曜日でも東京ディズニーランドに向かうであろう若い女性のグループなどでけっこう混み合います。

ところが、当日の自由席はガラガラ。しかも、大半の乗客が名古屋で下車してしまい、それから先は数えるほどでした。

というのも、3月11日に発生した東日本大震災と原発事故の影響で、首都圏に遊びに行ける状況ではなかったからです。

東京で行った株式投資セミナーの参加者もたった3名で、会場は重苦しい雰囲気にもまれていたような記憶があります。

私自身も、大震災直後のパニック売りで持株が大幅な下落に見舞われ、その後の戻り相場で売却して、辛うじて難を逃れたばかりでした。

しかし、このときこそ絶好の投資チャンスでした。投資に「たられば」は禁物とはいえ、相場の乱高下に右往左往せず、長期的な視野を持って投資できなかったことが悔やまれます。

今回の資産運用レポートは「3年先を見据えた投資」を取り上げます。



今では、京都駅から「のぞみ」の自由席に乗車するのはリスクです。満席で座れないかもしれないからです。JR東海の株価が、東海道新幹線の混雑度を示しています。